

輸出事業計画

※申請者名：和歌山県農業協同組合連合会

品目：かき

1. 輸出における現状と課題

【現状】

和歌山県のかきは、紀の川流域の紀北地区を中心に栽培が行われており、生産量は日本一を誇る。輸出は、農家所得の向上と地域農業の維持・発展のため、販路拡大につながる重要な手段として取組み、東南アジア地域を中心にアメリカについても輸出が解禁された平成29年度から出荷を継続している。

輸出拡大の取組みとして、アメリカ等の検疫条件をクリアするため生産園地において輸出用の防除暦による病害虫防除対策を行うとともに、選果梱包施設の体制整備に努めている。また、販路先国のバイヤー招聘やWebでの商談会に加え、現地量販店での販売促進活動の実施を行ってきた。このような取り組みの結果、外観や食味が優れた和歌山県産かきは富裕層を中心とした現地消費者から高く評価されており、今後の輸出拡大が期待されている。

【課題】

生産者の高齢化や後継者不足による栽培面積の減少、度重なる異常気象の発生により、生産量の維持・拡大が困難となっている。また、輸出専用の防除暦による防除や、国内向け出荷と分離した選果梱包作業の実施や包装資材の準備は生産者や選果場での作業において負担が大きくなっている。

船便輸送に長期間を要する国への輸出においては長期輸送における鮮度保持技術の確立が課題となっている。

輸出先国によっては他産地との競合が発生しており、品質面や販売時期での差別化や安定した売場確保が課題となっている。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産面】

改植による園地の若返りや基盤整備による生産性の向上等により、生産基盤の維持強化を図る。

輸出先国の規制や販売先のニーズに対応するため、和歌山県版 G A P や選果場での H A C C P の考え方を取り入れた衛生管理を推進するとともに、効果的・効率的な防除・選果こん包作業の体系を検討する。

【流通面】

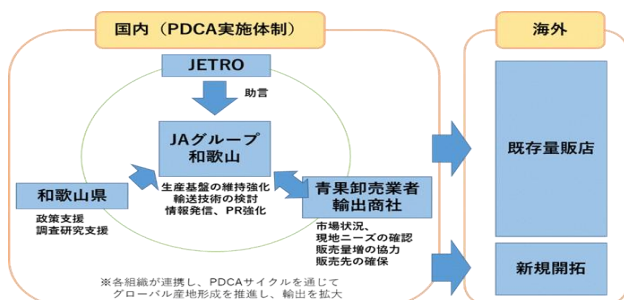
関係者と連携し、長期輸送における鮮度保持条件の解明と輸送技術を検討する。

【販売面】

バイヤー招聘や量販店における販売促進活動による P R を継続しつつ、SNS等を活用した産地状況等の情報発信や、ライブコマース等の新たなツールを活用したPRを展開していく。

幅広い等階級の販売企画、店舗拡大を図るため、関係機関と連携し、バイヤー招聘やWeb商談を活用し、現地バイヤー等との関係の更なる強化を図る。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和3年度）			目標（令和7年度）		
	輸出額	輸出货量	輸出先国	輸出額	輸出货量	輸出先国
紀の里農業協同組合	19,960千円	43,600kg	香港、タイ、シンガポール他	80,000千円	200,000kg	香港、タイ、シンガポール他
紀北川上農業協同組合	6,963千円	18,500kg	タイ、香港、シンガポール、アメリカ他	43,000千円	114,000kg	タイ、香港、シンガポール、アメリカ他